

30TCE686号

2019年3月11日

各関係機関の長 殿

独立行政法人国際交流基金
日本語試験センター
事務局長 高橋 力丸
(公印省略)

独立行政法人国際交流基金日本語試験センター
日本語能力試験研究員募集のご案内

【募集の目的】

独立行政法人国際交流基金(ジャパンファウンデーション)は、文化芸術交流、海外での日本語教育支援、日本研究・知的交流等の分野でさまざまな活動を行っております。

国際交流基金は、日本語事業の一環として1984年以来、公益財団法人日本国際教育支援協会と共催し、日本語を母語としない人を対象とした日本語能力試験(<http://www.jlpt.jp/>)を実施しています。2010年からは、課題遂行のための言語コミュニケーション能力を重視する新しい日本語能力試験を実施しており、全世界で年間約100万人(2018年実績)が受験しています。

今般、日本語能力試験の作成・分析、運営を行っている国際交流基金日本語試験センターでは、試験問題作成業務に従事する日本語能力試験研究員(任期付)を以下の通り募集いたします。

【募集内容】

1. 募集人数

下記の担当分野でそれぞれ若干名

「文字・語彙」「文法」「読解」「聴解」

2. 身分

国際交流基金と業務委嘱契約を結び、任期付研究員として業務に従事。

3. 業務内容

日本語能力試験の問題作成業務ならびにそれに付随する業務。

4. 主たる勤務地

場所：国際交流基金日本語試験センター

住所：東京都新宿区四谷 4-3(東京メトロ丸の内線四谷三丁目より徒歩 3 分)

5. 待遇

(1) 手当：国際交流基金の規程に基づき、各人の学歴、経験等に従い基本手当、時間外手当、特別調整手当、扶養手当（該当する場合）、住居手当（該当する場合）、通勤手当、特別手当（賞与）を支給いたします。

(2) 社会保険：健康保険、雇用保険、厚生年金保険、労災保険に加入いたします。

6. 勤務条件

(1) 勤務日：原則として、月曜から金曜までの週 5 日勤務で、土曜、日曜、祝日を休日といたしますが、業務の都合上休日出勤を求める場合もあります（その場合は平日に振替休日取得）。

(2) 休暇：有給休暇制度有り（勤務開始月により調整あり）。

(3) その他の勤務条件：国際交流基金の定めるところに拠ります。

7. 契約開始日及び契約期間

(1) 契約開始日：2019 年 10 月 1 日もしくは 2020 年 4 月 1 日

※ 勤務開始日は上記を基準といたしますが、個別に相談に応じます。

(2) 契約期間：契約開始日より原則として 1 年間

※ 任期中の勤務状況等を評価の上、最長通算 5 年の範囲内で契約を更新することがあります。

※ 別途、研究員（任期定めなし）の公募を行う場合には任期付研究員の方の応募も可能です。

【応募資格】

次の(1)を満たす者。加えて、(2)～(4)のいずれかに該当することが望ましい。

(1) 大学又は大学院で日本語教育又はそれに類する課程を修了し、修士号を取得した者
(応募時点で修了見込みの者も応募可)

(2) 大学、研究機関等で日本語教育の経験を有する者

(3) 日本語能力測定等に関する専門性を有する者

(4) 国際交流基金派遣専門家として 1 年以上の海外派遣又はこれに準ずる海外での日本語教育の経験を有する者

※日本語を母語としない場合または日本国籍を有しない場合は、上記 3. に定める業務（試験問題作成業務）を遂行するに足る高度な日本語能力を有すること、国際交流基金での就労を開始するまでに日本国内で合法的に就労できる資格を満たしていることを条件といたします。

【応募方法】

1. 応募書類

(1) 日本語試験センター指定履歴書（写真貼付）

記入内容が多いなどの理由で書式がずれてしまう、枚数が多くなってしま
うなどは構いませんが、記入項目については全て記載して下さい。

(2) 業績資料

履歴書に記した業績一覧の内、著書、論文、制作した教材等の現物又はコ
ピー1点（学位論文は除く）を提出下さい。返却を希望する場合はその旨
も明記して下さい。なお、共著論文の場合にはご自身の分担内容を明記し
て下さい。

(3) 志望理由書

2,000字以内（A4版用紙2枚以内、ワープロ打ち）で、次の点にも触れつつ
志望理由を記して下さい。

✓ これまでの仕事の内容、専門、特に関心を持ってきたこと。

✓ 希望する分野とその理由。

✓ 日本語能力試験において自身のどのような能力、資質、経験が生かせる
か。

(4) 推薦状1通

推薦者と本人との関係を明記して下さい。また、推薦状は推薦者自らが封
筒に入れた上で厳封して下さい。

※ 提出書類は、(2)のうち、返却希望と明記されたもの以外は返却しません。
選考終了後は当方で責任を持って破棄いたします。

※ 第二次選考通過者には、上記に加えて、修了（卒業）証明書、健康診断書
等の提出を求めます。

2. 提出方法、提出先、提出期限

(1) 提出方法

「研究員応募書類在中」と朱書した封筒で、上記 1. 応募書類を下記宛に
郵送して下さい。

(2) 提出先

〒160-0004 東京都新宿区四谷4丁目3番 四谷トーセイビル8階

国際交流基金 日本語試験センター 試験制作チーム 研究員採用担当係

(3) 提出期限

応募は2019年9月末まで随時受け付けます。概ね下記の【選考スケジュー
ル】に沿って選考を進めますので、書類提出の目安としてください。

【選考方法】

1. 第一次選考：書類選考、事前課題（応募書類を確認後、事前課題を実施する分野があります。）
2. 第二次選考：第一次選考通過者に対し、下記のスケジュールのとおり、当日課題（分野によっては事前課題）と口頭試問（課題に関する質疑応答、プレゼンテーション等）を実施いたします。口頭試問は、日本語試験センターにおける対面での実施を原則といたしますが、海外からの応募の場合、スカイプ等による面接も検討いたします。

【選考スケジュール】

1. 第1期

- (1) 原則として、2019年5月24日までに受領した応募を対象といたします。
- (2) 第一次選考：希望分野によって、指定する課題に取り組んでいただく場合があります。対象者に対し6月上旬に課題のご連絡をいたします。第一次選考結果については7月中旬までに通知いたします。
- (3) 第二次選考：課題の結果を踏まえて、7月下旬より実施を予定しています。第二次選考結果については8月上旬までに通知いたします。

2. 第2期

- (1) 原則として、2019年6月～9月末日までに受領した応募を対象といたします。
- (2) 第一次選考：希望分野によって、指定する課題に取り組んでいただく場合があります。対象者に対し10月中旬に課題のご連絡をいたします。第一次選考結果については11月下旬までに通知いたします。
- (3) 第二次選考：課題の結果を踏まえて、12月中旬より実施を予定しています。第二次選考結果については12月下旬までには通知いたします。

【説明会】

下記の通り採用説明会を実施いたします。

1. 日時

- (1) 第1回：3月20日（水）18：30～20：00（開場は18：00）
- (2) 第2回：8月28日（水）18：30～20：00（開場は18：00）

2. 会場：国際交流基金日本語試験センター

東京都新宿区四谷4丁目3番 四谷トーセイビル8階

<http://www.jpfi.go.jp/j/access/map.html>

3. 内容（予定）

- (1) 国際交流基金の概要紹介
- (2) 日本語能力試験の概要紹介
- (3) 研究員業務の説明

4. 参加方法

氏名及び連絡先を明記の上、下記問い合わせメール<js_saiyo@jpf.go.jp>宛に説明会の前日（第1回：3月19日（火）・第2回：8月27日（火））までに電子メールにて参加をお申し込み下さい。

【問い合わせ先】

国際交流基金 日本語試験センター 研究員採用担当

Tel：03-5367-1021 Fax：03-5367-1025 mail：js_saiyo@jpf.go.jp

（メールを送る際は、全角@マークを半角@マークに変更してください）

※お問い合わせはメールにてお送りください。

以上

